

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y010	現代社会と女性	玉島 健二	全学通年	2年間で15回の授業です。この科目は、卒業後に社会人となる皆さんに、社会人として必要な基本的素養及び学生生活を送る上で必要な基礎を学んでもらうために開設しています。学生の皆さんには多角的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいと願っています。	現代に生きる女性に必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける 命と人権を考え、お互いを大切にすることと行動力を身に付ける 仕事や職業について理解し、人としての生きる力を身に付ける	◎	◎	△	◎	◎	○
18Y020	マナー学	江頭 万里子	1年次後期	社会人としての基本的なマナーを身に付ける	マナーとは何かを知り、マナーの大切さを理解する 礼儀正しい立ち居振舞いができる 礼儀正しい話し方ができる 慶事・弔事における基本的なマナーを身につける 日常生活においてマナーを心掛けることができる	◎	○	◎			
18Y030	生涯学習論	玉島 健二	2年次前期	社会人として必要な事柄について学ぶとともに、柔軟なものの見方や考え方を身に付けることにより、生涯学習の基礎を理解する。	社会人として必要な知識、技能、態度を身に付ける より善く生きるために必要な学びの重要性を理解する 人に関する職種に就く者として、生涯学習を深める	◎	◎	○	◎	○	○
18Y040	日本文化概論	久保 美洋子 大町 福美	1年次後期	華道：日本の伝統文化である華道は、数百年という悠久の時の流れの中で結実した世界に誇れる文化です。日本の美しい四季を感じることで華道を通して「日本の心」について学びます。 茶道：茶の湯の芸術性、精神性にふれ、伝統文化・自己表現としての「お茶の世界やその心」を知る。茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識などを学ぶ。	四季折々に移り変わる自然を個性豊かにいけることにより、「表現の喜びや感動」を味わう。 いけばなの成り立ち、基本的知識や表現の仕方を学ぶ。 茶の湯の芸術性・精神性にふれ、伝統文化・コミュニケーションとしての「茶の世界やその心」を知る。 茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識などを学ぶ。	○		○		○	

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y050	ヒトと生物	松尾 公則	2年次後期	ヒトは地球生態系の中の一員であり、他の動物や植物との連携なしには生きていくことはできません。「ヒトと生物」では、身近な動物を通じて、生態系のことを学びます。	身近な動物の生態を知ることで、生物について学ぶ楽しさを確認する。 ヒトと野生動物の関わりを知ることで、自然との付き合い方を知る。 ヒトは地球生態系の中の一員として生き続けていることを認識する。	△	◎	◎	○	△	△
18Y060	心理学	福井 謙一郎	2年次後期	日本社会の特徴とそこで生活する人々の心や行動の様相が密接な関わりを持っていることを理解する。	行動科学の観点から人の心を捉えることができる。 日本社会が持っている規範や価値観に関する特徴を理解する。 日本社会の特徴を踏まえながら、人の心や行動のメカニズムを理解する。	○	○	◎	○	○	◎
18Y070	経済学	吉田 高文	2年次後期	ミクロ経済学およびマクロ経済学で最低限必要となる理論や考え方を学習する。	基礎的な経済用語を理解する。 ミクロ経済学とマクロ経済学の違いを理解する。 新聞やTVニュースの経済的話題に関心を持つ。 政治と経済のつながりを理解する。 経済の知識を日常の消費生活に活かす。	△	○	◎	○	○	○
18Y080	日本国憲法	太田 久美子	2年次後期	日本国憲法の基本的事項について理解し、「権利」とは何か、なぜ権利を護らなければならないのか等ということについて、自らの力で考える力を養うことを目指します。	憲法の用語の正しい理解から、その理念を把握する。 権利と義務の関係を理解し、適切な権利行使を可能にする。 権利と義務を理解し、弱者や価値観の違いを受容する土台を作る。 憲法(法律)によって裏付けられた世の中の仕組みを理解する。		○	◎	○		

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y090	体育講義	下釜 綾子	1年次前期	スポーツ活動が体力の向上や健康維持、増進に及ぼす効果を理解し、生涯にわたって実践していこうとする意識を育てる。	自分の健康は自分で守るという意識を持ち、健康に関する正しい知識を習得する。 健康を阻害する要因について理解する。 これからの健康生活プランを立てることができる。	○		○	○	○	
18Y100	生活と音楽	中澤 伸元	2年次後期	社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。 音楽の基礎、楽典、音楽の必要性について学ぶ。 歌うこととハーモニー訓練。	一般教養としての楽典などの音楽知識 楽譜の理解と音楽に対する興味関心度を高める 何故よい声が出るのか？出せるのか？声には人柄、知性、意思が含まれている。声は意識次第でどうにでも変わ 拍子感覚、リズム感覚を学ぶ 表現することの喜びを身に付ける	○	○	○	○	○	○
18Y110	生活とアート	昆 正子 織田 芳人	1年次前期	美術における表現の喜びや感動を学ぶ	人間にとっての美術の意義を説明できる 美術に関する基礎的な知識を身につけ、美術作品を読み解く能力を養う 自由な発想と多様な表現方法により、表現活動を行うことができる	○	○	○	◎	○	
18Y120	生活と書	江副 功	2年次後期	書の歴史・理論・技法・鑑賞・表現などを考究する。	文字の歴史を学ぶことによって、伝統文化としての「書」の存在意識を理解する。 「美しい文字」を鑑賞・練習することによって、感性を高め技法の上達にも努める。 朝日新聞「天声人語」等によって、読み・書き・話す能力を高める。 静聴できる態度(心構え・習慣)を体得する。	○	△	◎	◎	○	○

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y130	体育実技	下釜 綾子	1年次通年	学生生活における自らの健康・体力の維持増進を図るとともに、生涯に渡るスポーツとのかかわり方を学ぶ。加えて、様々な競技を通して、協調性、計画性、コミュニケーション能力の向上を目指す。	スポーツに関する知識を深めるとともに技能を高め、人と関わりながらスポーツの楽しさを味わうことができる。 心と体の健康づくりのため、自分なりの運動を実践できる。 協力、責任、参画などに対する意欲を高め、生涯におけるスポーツライフを構想できる。	○	○	○	○	○	
18Y140	英語	奈良 望	2年次通年	英語で書かれた情報に接することによって、情報獲得の手段としての英語に慣れる。それぞれのコースにかかわりのある内容の教材を用い、その要旨を掴むことで異文化理解を深める。また、オーラルの要素も導入して、毎回会話の練習にも挑戦してもらう。	英語で書かれた環境に触れることに慣れる。 日本語による解説を通して要旨を掴む習慣をつける。 日本語及び英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。 海外事情を知ることで、視野を広げる。		○	○	○	◎	
18Y150	中国語	堺 蘭	2年次通年	外国語学習は、基礎固めが重要で、しっかりした基礎が固められれば、今後のステップアップが容易になる。本講義では学習者の中国語の基礎学習の一助となることに資する。	中国語の発音をしっかりと習得 初歩的な中国語文法を習得 簡単な中国語会話ができるようになる 中国文化に触れ、中国語への理解を深める			◎			
18Y160	韓国語	金 英泰	2年次通年	1. ハングル(韓国語)に親しくなり、読み方、書き方、発音、文法の基礎を学ぶ。ヒアリング・会話能力を習得する。 2. パソコン上で韓国語の文字入力およびインターネット検索ができるように学ぶ。	ハングルを読む、書く、聞く、話すことができるようになる。 ハングルによる基本的ITリテラシーを身につける。 授業を通じて、韓国文化を学びながら国際的なコミュニケーション能力を高める。	○	◎	◎	◎	△	△

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y310	国語表現法	山本 尚史	1年次前期	保育者に必要なことばの使い方や表現方法を学習する	母語としての国語に関する基礎的な知識を得る	△	○	◎	◎	◎	△
					幼児教育・保育の担い手として、子どもの言葉の発達への理解を深める						
					子どもたちの言葉の成長の基盤となる自らの言葉への感性を高める						
18Y320	うたと表現	中澤 伸元	1年次前期	保育者としての必要な技術、知識を理解し、身に付ける。 音程、発声法、呼吸法、表現法、拍子、リズム	発声の技術を身に付ける。自信が生まれる。	○	○	◎	◎	○	△
					発声技術を理解した表現法を身に付ける。信用信頼感を見に付ける。						
					リズムの正確な表現する。作曲家の狙いを正確に表現する。						
					音程を正確に表現する。技術力、感動力を身に付けるようにする。						
					拍子感を身に付ける。2,3,4,6拍子などの音楽性を身に付ける。						
18Y330	子どもの歌と伴奏法	中村 浩美 中嶋 浜子 村田 実智代 宮崎 洋子 鵜川 佐由美 村川 千佳 内田 誠 大野 陽子 寺谷 陽子 吉田 智子	1年次通年	保育現場における音楽基礎技能を、ピアノの個人レッスンとグループでのコード伴奏法などで習得する。	保育現場で必要な音楽の理論やソルフェージュ能力の基礎を観につける。	○	○	◎	◎	◎	○
					バイエル教則本を修得することにより子どもの歌の伴奏法を身につける。						
					幼稚園教育要領の基本、ねらいをふまえて、保育現場で必要な生活・季節の弾き歌いを修得する。						
					簡易伴奏法(コード伴奏法の基礎)を習得する。						
					保育現場でよく歌われている子どもの歌を楽しく歌えるようになる。						
18Y340	保育と音楽表現	白石 景一 中村 浩美 鵜川 佐由美 内田 誠 大野 陽子 中嶋 浜子 宮崎 洋子 村川 千佳 村田 実智代 吉田 智子	2年次通年	音楽の幅広い感性・知識・技能を育成し、音楽を通じて保育を 実践する上で、音楽の理解・知識・技術を持って保育の様々な 場面で適切に展開できる素養を身につける。	ピアノの基礎技能を習得し、保育現場での「生活の歌」の弾き歌いを音 乐的に表現できる。	◎	◎	◎	◎	◎	○
					「季節の歌」や様々な「子どもの歌」の伴奏や弾き歌いを子どもが歌いや すいよう配慮して演奏できる。						
					笑顔で子どもにわかりやすく手遊び歌ができる。						
					ピアノ連弾を体験し、アンサンブルの基礎を学ぶ。						
					表情豊かに明るく楽しく歌うことができる。						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y350	幼児体育	蛭原 正貴	1年次後期・2 年次前期	幼児の運動遊びに関する教材、教具、取り扱い、援助の方法 について理解を深めるとともに、運動の基礎的技能を身に付ける。	幼児の運動遊びの教材、教具、取り扱いについて理解する。	○	○	○			
					幼児の運動遊びの援助の方法について理解する。						
					幼児の運動遊びの展開に必要な基礎技能を習得する。						
18Y360	子どもと美術	昆 正子	1年次通年	子どもの造形表現の理解と保育内容の研究	表現することの楽しさを実感しながら様々な造形活動を行うことができる□	○	◎	○	◎	◎	
					材料・用具・技法の扱い方を理解し、適切に用いることができる□						
					協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな 表現につなげていくことができる□						
					様々な表現の基礎的な知識技能を生かし、幼児の表現活動に展開させ ることができる□						
					幼稚園教育要領に示された方法及び内容を実践的に理解する□						
18Y370	保育者論	山本 尚史	2年次後期	幼児や社会から求められる保育者の役割などについて事例な どを参考に、その立場に立った自分を思い描き、自分なりの保 育者像を考えてゆく	保育職の意義や保育者の役割を理解する	◎	◎	○	◎	◎	○
					保育の仕事や研修の必要性について理解する						
					社会で求められる保育者について考察する						
					目指す保育者像を考察する						
18Y380	教育原理	山本 尚史	1年次前期	教育の基礎的な知識を学び、教育者になるとはどういうことか を考える。	教育の基礎理論・知識を理解する	◎	△	◎	○	○	△
					教育の思想・歴史への理解を深める						
					社会における教育・保育の意義や役割を理解する						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目 コード	科目名	担当者	開講 時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y390	保育原理	山本 尚史	1年次前期	保育の意義や内容、思想、歴史、制度などの基礎知識を学び、保育の現状を考察する。	保育の基礎知識を理解する	○	○	◎	◎	○	△
					保育思想を理解する						
					保育制度を理解する						
					保育に必要な環境を理解し、考察する						
18Y400	情報科学	織田 芳人	1年次後期	保育分野におけるパソコンの活用法について十分理解し、必要に応じて利用できる	パソコンを使用して園だよりなどの文書作成ができる			○	○		○
					インターネットのマナーを理解する						
					インターネットを活用して必要な情報を収集できる						
					パソコンを使ったプレゼンテーションができる						
18Y410	教育史	船勢 肇	2年次前期	幼児教育にとどまらず、広く教育の歴史を学び、現代の子どもをめぐる問題について考える。	教育・保育の歴史を理解する	○	△	◎	◎	○	△
					教育・保育の思想を理解する						
					歴史を踏まえて、現代における保育や子どもの問題について考察する						
18Y420	子どもの心理学 I	福井 謙一郎	1年次前期	子どもの発達や保育に関する心理学の知識を身につけ、人間が生涯にわたって発達することを理解し、大きな視野に基づき子どもへの理解を深めることを本講義の主題とする。	子どもの心身の発達がどのように生じるのか理解する。	○	○	◎	○	○	◎
					保育に関する心理学の基本的な知識を身につける。						
					子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識を身につける。						
					人間が生涯にわたって発達することを理解する。						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y430	乳児保育	光武 きよみ	1年次通年	3歳児未満児の成長発達、生活を理解し、援助方法について学ぶ	乳児保育の理念と歴史の変遷および役割について学び、意見を述べる ことができる 保育所・乳児院などにおける乳児保育の現状と課題について述べるこ とができる 3歳児未満の成長発達について学び、健やかな成長を支える生活と遊 びについて説明できる 乳児保育の計画立案に関する保育内容や方法、環境構成や観察・記録 等について、概要を述べる 乳児保育における保育者や関係機関との連携について述べるこ とができる	◎	○	◎	○	○	◎
18Y440	障がい児保育	島田 幸一郎	2年次通年	特別の支援の必要性や教育的ニーズのある子どもが、生きる力を身に付けていけることができるよう、学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。	特別の支援を必要とする子どもの心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解する。 障がいのある子どもの学習上または生活上の困難について基礎的な知識を身に付ける。 特別の支援を必要とする子どもに対する支援の方法について例示することができる。 個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 特別の教育的ニーズのある子どもの支援において関係機関との連携の必要性を理解する。	◎	○	◎	○	◎	○
18Y450	社会福祉	荒木 正平	2年次後期	児童福祉の専門職として、社会福祉の理念や法制度、相談援助技術の考え方等を学び、福祉の基本的な知識・姿勢を修得する。	社会福祉の基本的な考え方と歴史、その役割を理解する。 社会保障・社会福祉に関する制度の概要を理解する。 相談援助(ソーシャルワーク)の意味と方法について、基礎的理解を深める。	○	○	◎	○		
18Y460	児童家庭福祉	長尾 久美子	1年次前期	児童福祉法制度や児童福祉の歴史、保育士資格の内容など、児童福祉の専門職として必要な基本的な知識や倫理などを修得する。	児童福祉の目的や歴史を理解する。 児童福祉法及び関連法制度を理解する。 児童福祉の専門職としての保育士の役割を理解する。			◎	○	○	
18Y470	社会的養護	荒木 正平	1年次前期	社会的養護と呼ばれるサービスについての概要を理解する。また社会的養護の対象となる子どもの処遇について、支援の理論や方法に関する基礎的理解を深める。	子どもの権利思想の歴史と背景を理解する。 社会的養護の意義と体系を理解する。 社会的養護に関わる子どもの実情と課題を理解する。	◎	○	◎	○	○	

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠実性・ 真摯性	② 多 様性・ 協働性	③ 知 識・ 技 能	④ 表 現考 ・ 創 判 断 力	⑤ 実 行性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業力 ・ 貢 献 力
18Y480	子どもの保健Ⅰ	光武 きよみ	1年次後期	子どもの心身の発育・発達、健康を増進させるための環境について理解するとともに、疾病と予防法および適切な対応、安全管理について学ぶ	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を説明できる	○	◎	◎	○	○	◎
					子どもの身体・生理・運動・精神機能の発達と保育について理解し、説明することができる						
					子どもの疾病とその予防法を理解して、適切な対応について説明できる						
					子どもの精神保健に関心を示し、心の問題とその課題について述べる ことができる						
18Y490	子どもの保健Ⅱ	光武 きよみ	2年次後期	子どもの心身の発育・発達、健康を増進するための環境について理解するとともに、疾病と予防法および適切な対応、安全管理について学ぶ	保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について、具体的に述 べることができる	○	◎	◎	◎	○	◎
					子どもの健康増進および心身の発育・発達を促す保健活動や環境につ いて考え、意見を述べる ことができる						
					子どもの疾病とその予防および適切な対応について具体的に説明できる						
					救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に説明できる						
18Y500	家庭支援論	荒木 正平	1年次後期	子育て家庭の現状についての理解を深めることで、保育者という立場から、子育て家庭の支援に積極的にかかわることの意義と重要性を認識できる。	現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について関心を持ち、意見を述べる ことができる	○	◎	◎	○	○	○
					子どもの育ちにおける家庭の意義と機能について理解する。						
					子育て家庭の現状や、それを取り巻く社会状況を理解する。						
					子育て家庭を支援する制度や社会的資源を理解する。						
18Y510	子どもの食と栄養	桑原 倫子	2年次通年	乳幼児期の発育・発達と栄養の関係を理解し、食べ方・食環境及び食育について学ぶ。また、調理実習・食育の模擬授業等を通して、実際の保育に役立つ実践力を身につけ、特別な配慮を要する子どもや、保護者への支援あり方など、個別の課題についても学ぶ。	子育て家庭支援における、保育士としての役割を認識する。	○	◎	○	◎	◎	○
					健康な生活の基本としての食生活、食品の基礎知識を学ぶ。						
					子どもの発育・発達段階に応じた栄養や食生活の意義を理解する。□						
					子どもの献立作成や調理方法及び与え方について理解し、身につける。						
					子どもの発育・発達と食育の必要性や食育計画について理解する。						
保護者及び特別な配慮を要する子どもの食生活支援の実践力を身につける。											

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y520	保育内容総論	本村 弥寿子	1年次前期	幼稚園教育要領・保育所保育指針を理解し、乳幼児の発達の特性や、幼稚園・保育所における遊びを中心とした保育内容について総合的に学ぶ。	保育の全体的な構造を理解する。						
					保育の歴史の変遷について理解する。						
					保育観察や記録の観点を習得する。	○	◎	○	◎		
					養護と教育が一体となった保育の展開を理解する。						
18Y520	保育内容「表現」	本村 弥寿子 織田 芳人	1年次前期	子どもの表現を読み取り、感性や創造性を豊かにするための援助・指導のあり方や、保育者自身の表現の重要性について学ぶ。	保育の多様な展開について理解する。						
					領域「表現」の内容を理解する。						
					子どもの表現を理解し、豊かに育む援助・指導を考える。			◎	○		○
					自らの表現力を高める意識を持つ。						
18Y540	保育内容「健康」	蛭原 正貴	1年次後期	乳幼児の心身の発育・発達について理解を深め、個々の発達過程にふさわしい生き方・学び方ができる物的環境、人的環境のありかた、関わり方等について、「運動遊び」を中心として学んでいく。	幼稚園教育要領・保育所保育指針「健康」のねらいと内容について理解する。						
					幼児期の発達の特性をふまえた保育環境のあり方、関わり方について理解する。						
					運動遊びの指導計画を立てることができる。	○	○	○	○	○	
					的確な情報を基に要旨をまとめ、伝えることができる。						
18Y550	保育内容「環境」	松尾 公則	1年次後期	身近な事象や自然環境について学び、保育の中で子どもが物の性質や形、数量などに興味を持ち、生命の尊さを感じることができるような遊びを計画するための基本的な知識や遊びを習得する。	領域「環境」の内容を理解する						
					身近な昆虫や動物との関わり的重要性を理解する	○	○	○	◎	○	
					身近な環境問題について理解する						
18Y560	保育内容「ことば」	山本 尚史	1年次後期	子どものことばの獲得方法・発達、およびそのための援助の仕方について学習する。	領域「言葉」の内容を理解する						
					子どもの言葉の発達を理解する						
					言葉の発達を促す保育環境の重要性を理解する	○	◎	◎	◎	◎	△
					言葉の発達を促す援助について考察する						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目 コード	科目名	担当者	開講 時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y570	保育内容「人間関係」	福井 謙一郎	2年次前期	子どもが他の人々と関わりながらどのように発達していくのか学ぶことを通して、保育者としての子どもとの関わり方を身につけることを本講義の主題とする。	幼稚園教育要領領域「人間関係」要点を理解する	◎	○	○	○	◎	◎
					保育における人との関わりの大切さを理解する						
					子どもの社会性を育てるために必要な知識や技能を身につける						
18Y580	カリキュラム論	本村 弥寿子	1年次後期	教育課程・保育課程を基にして指導計画を作成し、保育内容や指導援助のあり方について学ぶ。	幼稚園教育要領・保育所保育指針等の内容を理解する。		○	◎	◎	○	
					教育課程・保育課程の編成に関する基礎理論・知識を理解する。						
					個々の子どもを理解し、学級全体をイメージして指導計画を立案できる。						
18Y590	保育方法論	本村 弥寿子 織田 芳人	2年次前期	子どもが主体的に活動しながら、発達に必要な体験を積み重ねていけるような保育方法を学ぶ。	幼児期にふさわしい保育方法を理解する。		○	◎	○	○	
					様々な保育方法について理解する。						
					保育の評価について理解する。						
18Y600	臨床心理学(カウンセリング論を含む)	福井 謙一郎	2年次前期	人が抱える悩みを受け止め・共感するカウンセリングマインドを理解する。	行動科学の観点から人の心を捉えることができる	◎	◎	◎	○	○	◎
					心の悩みが生じるメカニズムを理解する						
					心の悩みの対処法を理解する						
					心の悩みを抱えている人との関わり方を身につける						
18Y610	子どもの心理学Ⅱ	福井 謙一郎	2年次後期	本講義の主題は、子どもの心理学Iの内容を踏まえたうえで、子どもの発達と学習をどのように援助すべきか、その具体的な方法を身につけることである。	子どもの発達と学習について理解する	◎	◎	○	○	◎	◎
					子どもの発達過程に応じた関わり方の必要性を理解する						
					子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識や技能を身につける						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠実性・ 真摯性	② 多 様性・ 協働性	③ 知 識・ 技 能	④ 表 現考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y620	幼児音楽(指導法)	白石 景一 中澤 伸元	1年次通年	1. 音楽を通じて子どもを保育・教育する上で最低必要と思われる音楽的基礎知識・技能・指導技術を指導法の観点から習得する。 2. 発声の基礎と子どもの歌の習得。	読譜の基礎技能、音楽の基礎的な楽典が理解できる。						
					発声の基礎を元に子どもの歌を楽しく歌うことができる。						
					和声学やコード伴奏の基礎が理解できる。	○	○	◎	◎	○	△
					子どもの音楽教育について理解する。 音楽を媒体とした遊びのなかで指導法を学び、理解する。						
18Y630	遊びの文化(指導法)	本村 弥寿子	1年次後期	児童文化について学び、基礎技能を修得する。	児童文化・児童文化財について理解する。						
					子どもの発達に応じた児童文化・児童文化財を理解する。	△	◎	◎	◎	○	○
					児童文化財の保育への展開方法を理解する。						
18Y640	運動遊びの実践(指導法)	蛭原 正貴	2年次前期	幼児の運動遊びの指導の計画、実践、評価の方法について学び、指導力を身に付ける。	運動遊びの指導計画の立て方を理解する。						
					幼児の発達段階に応じた運動遊びの指導法について理解する。						
					運動遊びの一斉保育を展開できる。	○	○	○	○	○	○
					運動会の計画・準備・展開について理解する。						
18Y650	動きのリズム(指導法)	蛭原 正貴	2年次前期	身体表現やリズム遊びの教材研究及び指導法について学ぶ。	リズムに合わせて動くことやイメージを持って動くことができる。						
					子どもの発達段階に応じた身体表現遊び、リズム遊びの指導計画を立てることができる。	○	○	○	○		
					指導計画を基に身体表現遊び、リズム遊びの展開ができる。						
18Y660	子どもの絵と製作(指導法)	昆 正子	2年次前期	幼児の豊かな感性や表現意欲を育むための適切な援助や指導ができる 能力の涵養と保育内容の研究	材料や用具、技法の扱い方を習熟し、自身の作品制作に活かすことができる						
					幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解できる	○	○	○	○	○	
					教育要領の基本・ねらい及び内容をふまえる視点をもって保育を計画し、省察することができる						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y670	社会的養護内容	荒木 正平	1年次後期	社会的養護サービスにおける処遇の実際の内容を理解し、保育士としての基本的知識・姿勢を身につける。	社会的養護サービスの具体的な援助内容について、基礎的な理解を深める。 子どもの発達段階や特性に応じた対応の必要性を理解する。 社会的養護の実践において、他職種と協力することの意義を理解する。 保育者として、子どもと共に学び続ける姿勢の大切さを理解する。	○	◎	◎	○	◎	△
18Y680	相談援助	荒木 正平	2年次前期	保育と相談援助のかかわりや必要性を理解し、保護者・子どもへの相談援助・支援の基礎を身につける。	保育士として相談援助にかかわることの必要性を理解する。 相談援助の考え方やその視点、援助の進め方などの基礎を理解する。 自己の意見を明確にしつつ他者の意見にも耳を傾け、協力して課題に取り組む姿勢を身につける。 子育て支援に関わるさまざまな社会資源を学び、連携の有用性を理解する。	○	◎	○	◎	○	△
18Y690	保育相談支援	福井 謙一郎	2年次後期	保護者に対する相談支援の内容と方法を理解する。	保育相談支援の意義と原則が分かる 保護者支援の基本を理解する 保育相談支援の内容・方法が分かる 幼稚園、保育園、児童福祉施設の保護者支援の実際について理解する	◎	◎	○	◎	◎	◎
18Y700	子どもの保健演習	光武 きよみ	2年次前期	乳児への関わり方の基礎技術や子どもの健康増進のための援助方法を、演習を通して学ぶ	乳児保育に必要な基礎技術を習得することができる 子どもの健康増進および心身の発育・発達を促すための環境について理解し、述べることができる 緊急時の処置法や安全管理について理解し、実施することができる	◎	○	◎	◎	○	◎

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y710	卒業研究	織田 芳人 中澤 伸元 松尾 公則 中村 浩美 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 光武 きよみ 蛭原 正貴 船勢 肇	2年次通年	自らの研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習を行う。その中で直面する様々な問題に適切に対応し、自ら解決できる能力や態度を身につける。	研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習などの活動ができる。	○	◎	◎	◎	◎	○
					自ら計画を立て、自主的に活動することができる。						
					グループワークの中でコミュニケーション力を発揮し、責任感を持って協働することができる。						
					成果を適切な方法で発表することができる。						
18Y720	保育実習指導Ⅰ	光武 きよみ 荒木 正平	全学通年	1. 保育次週の意義や目的、実習施設について理解する 2. 保育実習の計画や記録方法について理解する 3. 自分の自己課題を明確にする 4. 自己課題の解決に向けて計画・実行する	保育実習の意義や目的、実習施設について理解できる	◎	○	○	◎	○	◎
					保育実習の計画や記録方法について理解できる						
					自分の自己課題を明確にできる						
					自己課題の解決に向けて計画・実行できる						
18Y730	保育実習Ⅰ	光武 きよみ	1年次後期・2年次前期	大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どものかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する	◎	○	◎	○	◎	○
					保育所・施設の概要や1日の流れを理解する						
					子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める						
					保育者の仕事と役割について把握し、理解する						
18Y740	保育実習指導Ⅱ	中村 浩美 光武 きよみ 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 蛭原 正貴 船勢 肇	2年次通年	1.保育実習の意義や目的、実習施設について理解する 2.保育実習の計画や記録方法について理解する 3.自分の自己課題を明確にする 4.自己改題の解決に向けて計画・実行する	保育実習の意義や目的、実習施設について理解する	○	◎	○	◎	◎	◎
					保育実習の計画や記録方法について理解する						
					自分の自己課題を明確にする						
					自己課題の解決に向けて計画・実行する						

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 行 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y750	保育実習Ⅱ	中村 浩美 光武 きよみ 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 蛭原 正貴 船勢 肇	2年次前期	保育実習Ⅰをふまえ、子どもの観察や関わり視点の視点を明確にし、実践することを通して保育の理解を深める。保育所における子どもの保育および保護者の支援について総合的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。	保育の方法や技術を実践しながら習得する 責任を持ち、見通しをつけながら、仕事ができる 自分の課題を見つけ、保育実践に活かすことができる 子育てにおける保護者との連携の重要性を理解する 保育者を目指す者として、今後の学習課題を明確にする	◎	◎	◎	◎	◎	◎
18Y760	保育実習Ⅲ	島田 幸一郎	2年次通年	保育実習Ⅰを踏まえ、家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深める。その上で、児童福祉施設(保育所以外)における家庭支援のための知識・技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。	子どもや利用者への支援の方法・技術を実践する。 施設の地域社会における役割と機能を理解する。 家族関係の調整・保護者支援の現状を知る。 異なる職種との連携・協働の重要性を理解する。	◎	◎	◎	○	◎	○
18Y770	保育実習指導Ⅲ	島田 幸一郎	2年次通年	保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設(保育所以外)における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。	子どもの観察や関わり視点を持つことができる。 保育技術を高めることができる。 保育士としての自己課題を明確にできる。	◎	◎	◎	○	◎	○
18Y780	教育実習	本村 弥寿子 昆 正子	2年次通年	大学で修得した内容をふまえ、幼稚園の役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、教諭の業務内容や職業倫理、保護者支援について総合的に学ぶ。	幼稚園の社会的役割や具体的活動などを理解する。 幼稚園の概要や一日の流れを把握する。 子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める。 保育者の仕事と役割について把握し、理解する。 保育の方法や技術を実践しながら修得する。	○	◎	◎	◎	◎	◎

平成30年度生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目 コード	科目名	担当者	開講 時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
18Y790	保育・教職実践演習	本村 弥寿子 船勢 肇	2年次後期	保育に関する知識や技能の更なる修得と向上を目指して、保育現場での実習を振り返り、意見交換やグループ活動などを行う。	保育者と子ども・保護者とのかかわりの重要性を理解し、述べることができる。 様々な分野の保育技術を高める。 より良い指導計画や記録の書き方を理解することができる。 自分の目指す保育者像を描き、意見を述べるすることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎